

公開タグ	心疾患全般	心疾患全般
タイトル	新型コロナウイルス感染拡大下の心臓カテーテル検査及び治療に関する提言	新型コロナウイルス肺炎蔓延下で心筋梗塞にかかったかな？と思ったら
主に該当する病期	病期を問わず	急性期
概要	日本心血管インターベンション治療学会より、慢性冠症候群・急性冠症候群に対するカテーテルインターベンションについて、実施時期や施行時の感染対策について指針が示されている	日本循環器学会・日本心血管インターベンション治療学会。伊莉日本心血管インターベンション治療学会理事長から患者さんへのメッセージ動画。「早く治療を受けるのが大事ですが、そのためには、早く自分で自分の症状に気づくことです。」「心筋梗塞は発症その日が生死を分けます。明日はないと思ってください。1分でも早い方がよいです。」「平時であれば助かる命を失ってしまう事態、これを避ける努力をしましょう。」早期発見、早期受診をわかりやすく呼びかけている
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	COVID-19の影響を受け、慢性冠症候群・急性冠症候群の治療方針の変化に迅速に対応するために役立つ	・啓発・教育：3分の動画の中で心筋梗塞の病態、症状、治療が分かりやすくまとめられている。メッセージも明確
リソースのリンク	http://www.cvit.jp/files/news/2020/0413.pdf	https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2020/04/%E4%B8%80%E8%88%AC%88%90%91%E3%81%99.pdf
QRコード		
公開日	2020/4/14	2020/4/18

公開タグ	心疾患全般	心疾患全般
タイトル	外科手術症例における新型コロナウイルス感染症のPCR検査に関する声明	日本小児循環器学会による新型コロナウイルス(COVID-19)感染症に関するQ&Aについて
主に該当する病期	急性期	病期を問わず
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本呼吸器外科学会、及び日本血管外科学会による声明 ・緊急手術では無症候性の新型コロナウイルス感染症がいる可能性があり、それに対する手術では院内感染や医療崩壊を招く恐れがある ・感染予防対策として緊急術症例に対するPCR検査の実施が必要であり、必要な資材および保険適応に関する要望 	小児循環器学会からの新型コロナウイルスに関するQ&A(一般向け)その他の学会によるQ&Aリンク集
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急手術症例は無症候性新型コロナウイルス感染症患者がいる可能性があることを示している ・理学療法士は緊急手術症例では無症候性新型コロナウイルス感染症患者の可能性を考慮し、感染予防を行うべきである 	
リソースのリンク	https://plaza.umin.ac.jp/~jscvs/corona-pcr/	http://jspccs.jp/wp-content/uploads/COVID-19_0421.pdf
QRコード	 <p>https://plaza.umin.ac.jp/~jscvs/corona-pcr/</p>	 <p>http://jspccs.jp/wp-content/uploads/COVID-19_0421.pdf</p>
公開日	2020/4/21	2020/4/21

公開タグ	心疾患全般	心疾患全般
タイトル	新型コロナウイルス陽性および疑い患者に対する外科手術に関する提言 (改訂版)	心臓既往症のコロナ患者に対する糖尿病薬の臨床試験
主に該当する病期	急性期	病期を問わず
概要	<p>一般社団法人日本外科学会作成。現時点（令和2年4月10日）でのエビデンスおよび海外学会のガイダンスをもとに、外科医が注意すべき項目についての提言。次の内容が記載されている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者および術式選択について ・個人用防護具（PPE）について ・気管挿管・抜管時のリスク回避について ・その他の手術リスクについて ・手術後の対応について・帰宅時の対応について ・緊急手術について <p>手術トリアージの目安として米国学会（ACS）が推奨するセントルイス大学が推奨するElective Surgery Acuity Scale(ESAS)をベースにした項目が記載されている</p>	<p>朝日新聞の記事にて、英製薬アストラゼネカが、糖尿病治療薬「フォシーガ」で心臓や腎臓の既往症のある新型コロナウイルス感染症患者を治療する臨床試験を行うことが報告された</p>
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> ・周術期リハビリテーション：手術トリアージ項目の中で、心臓手術、重症下肢虚血に対する血管手術は、数日から数カ月以内に手術しないと致命的となり得る、重大な障害を残す疾患と定義され、本提言に準じた十分な感染予防策を講じ、慎重に実施するとされる。術後のリハビリテーションに関する提言の作製が急務と考える ・感染予防対策：「8. 医療従事者の帰宅時の対応について」の記載項目は医療従事者全般に適応となる内容である 	<p>COVID-19の影響を受け、心臓病病患者の今後の治療方針に変化が生じる可能性がある。治療方針の変化に迅速に対応するために役立つ</p>
リソースのリンク	https://www.jssoc.or.jp/aboutus/coronavirus/info20200402.pdf	http://www.asahi.com/international/reuters/CRWKCN22606J.html
QRコード	 <p>https://www.jssoc.or.jp/aboutus/coronavirus/info20200402.pdf</p>	 <p>http://www.asahi.com/international/reuters/CRWKCN22606J.html</p>
公開日	2020/4/23	2020/4/24